

活動テーマ

伝統行事と農作業を通したふるさと支援

秩父市旧吉田町地区 十文字学園女子大学

1 活動目的

旧吉田町地区は秩父市内でも山間部へと行くほど住民の減少が高くなっている地区である。太田部では住民登録をしている方は29年度当初20世帯28人であるが、入院や施設入所されている方も含まれるため広大な山間地域に実際は20人ほどとなっている。そういった地区を訪問するのに数値化することは困難であるが、中山間地域の暮らしに少しでも貢献したいと考える。

2 活動地域の現状

石間・太田部はともに秩父市旧吉田町の集落で、平成17年の合併により秩父市となったが、元々は太田部村・石間村の別個の村であった。平成27年1月1日現在の人口は太田部35人・石間280人、平成28年1月1日で太田部34人・石間258人、平成29年太田部29人・石間242人、平成30年太田部26人・石間229人と共に急激な人口減少、過疎化が進んでいる地域である。

3 活動内容

①太田部・海棠祭り参加 5月3～4日 参加者6名

5月3日夕食に、中華料理店に勤めていた住民のSさんお得意の美味しい餃子づくりを学生も教わりながら手伝った。ローストビーフやタケノコの煮物も作ってきてくださり、ご近所さんもお誘いして、美味しく楽しい夕食となった。Sさんも楽しそうであった。

5月4日には、海棠祭りに参加した。始まる前には会場につき、準備を手伝い、薬味を刻んだり、各テーブルに食材や飲み物、皿や箸など人数分を配布したり、そばを配ったりと手伝えることができた。

②天空だんべえ石間収穫祭参加 9月23日（土）～24日（日） 参加者：7名

前日の準備からお手伝いに入り、祭りに必要な野菜を刻むことや「もろこし饅頭」を作るお手伝い、そば打ちの粉を測って袋詰めをするお手伝いをさせていただいた。

祭り当日は、もろこしまんじゅう作りと販売の手伝いをしながら、踊りの練習をし、踊りを披露することができた。



③太田部 十八神社祭りと「太田部を考える会総会」参加

9月30日～10月1日 参加者10名

十八神社は、吉田小学校太田部分校の前の山道を少し上った山の中腹にあり、一時祭礼は途絶えていたが、地域外住民の方が中心となり、建物を修理したり、宮司に依頼されたりして、復活している。次いで行われた「太田部を考える会総会」では、埼玉県秩父農林振興センターの方、吉田総合支所の担当者の方、「ミニデイサービス元気アップ講座」「太田部の四季を楽しむ会」「太田部の自然と農業に親しむ会」「地域外住民の会」などの報告に交じり、「十文字学園女子大学の活動報告」もさせていただいた。



④石間・太田部のお祭りや昔のお話を伺う 1月13日～14日 参加者7名

石間・太田部で良くお世話になっている方々4名に、祭りや昔の話を伺った。

4 成果

最後1月に入ってから石間・太田部を訪問し、何気なく参加させていただいていたお祭りや行事を意味のある物としてとらえることができた。

人口減少の中、継承すべきものを継承しつつ、地域活性化に努力されている住民の皆様の中に若い学生が入ることの意義を感じることができた。

石間では、前日のお手伝いとして、女性グループの仲間に入った。普段、天空だんべえ石間協議会の男性陣との交流が主であるが、地区の女性の方との交流は少ないが学生の学びにとって貴重で、地域の話や女性視点で聞くことができた。女性のニーズにこたえることができたのではないかと感じている。

お話を伺ったK・Nさんがおっしゃった、祭りがあると、地域の住民と地域外の住民（地域外に出られた家族、ボランティア等支援団体、学生等も含めて）が交流できる意義についてその通りであると感じている。

5 課題

福祉系の学科ということで、資格取得の為の実習が多いため、学生が参加できる時期が限られてしまう傾向にある。地域のニーズと学生の予定、教員の予定のマッチングが困難な時が多くあり、活動に制限がかかってしまうことがあった。

6 次年度以降の計画

まだ未定です。